

大阪市立常盤小学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

【視点 学力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」などの結果から、基礎的・基本的な学習内容が定着したと考えられる児童の割合を、平成24年度の水準より引き上げる。（カリキュラム改革関連）
- 本校における保護者・児童のアンケート調査の結果から、高い学習意欲・学習理解を示す児童の割合を、平成24年度の水準より引き上げる。（カリキュラム改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校児童アンケート調査の結果から、自己肯定感や規範意識の育成に関する肯定的回答の割合を、平成24年度の水準より引き上げる。（カリキュラム改革関連）
- 年度末調査で、不登校の児童の割合を前年度比で毎年減少させる。（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査で、各学年の合計得点を、平成24年度の水準より引き上げる。（カリキュラム改革関連）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 平成27年度の全国学力・学習状況調査の結果から、国語・算数を観点別に分析し、課題となる項目について、正答率の向上を目指す。（カリキュラム改革関連）
- 本年度の学校児童アンケートの「学校の勉強はわかりますか」の項目について、肯定的に回答する割合を全体の90%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 本年度の学校保護者アンケートの「子どもは授業がわかりやすいと言っている」の項目について、「当てはまる（どちらかと言えば、当てはまる）」という肯定的回答の割合を全体の90%以上にするとともに、「当てはまる」の割合を全体の60%以上にする。（カリキュラム改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 本年度の学校児童アンケート調査の結果から、次の各項目について、「当てはまる（どちらかと言えば、当てはまる）」という肯定的回答の割合を全体の90%以上にする。
 - ・自分にはよいところがありますか。
 - ・学校のきまりをまもりましたか。
 - ・友だちのよいところを見つけられましたか。（カリキュラム改革関連）
- 本年度末の校内調査で、不登校児童の数を前年度より減少させる。（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査で各学年の平均得点を、大阪の平均よりも1種目以上上回る。（カリキュラム改革関連）
- 「保健調べ」で、健康な生活習慣を昨年度より2項目以上向上させる。（カリキュラム改革関連）
- 本年度の学校児童アンケートの「配膳された給食を残さず食べることができましたか。」の項目で、児童の肯定的回答の割合を90%以上にする。（カリキュラム改革関連）

大阪市立常盤小学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 学力の向上】 ○ 平成27年度の全国学力・学習状況調査の結果から、国語・算数を観点別に分析し、課題となる項目について、正答率の向上を目指す。 (カリキュラム改革関連) ○ 本年度の学校児童アンケートの「学校の勉強はわかりますか」の項目について、肯定的に回答する割合を全体の90%以上にする。 (カリキュラム改革関連) ○ 本年度の学校保護者アンケートの「子どもは授業がわかりやすいと言っている」の項目について、「当てはまる（どちらかと言えば、当てはまる）」という肯定的回答の割合を全体の90%以上にするとともに、「当てはまる」の割合を全体の60%以上にする。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【言語力や論理的思考能力の育成】 『言語文化の創造』をテーマに読解・記述・コミュニケーションなど多様な言語活動を年間計画にしたがって実施する。 (カリキュラム改革関連)	
指標 言語活動の取り組みについて、家庭学習の工夫・ホップタイムの活用内容の整理をする。思考力・判断力・表現力を高める活動を授業に取り入れる。	
取組内容②【授業研究を伴う校内研修の充実】 全学年による英語の研究をはじめ、言語指導の充実や授業力向上及び初任者若年者育成等、授業研究を軸とした校内研修を充実させる。 (カリキュラム改革関連)	
指標 1人1回以上の授業公開をめざし、全教員が授業力向上の手応えを感じられるようにする。	
取組内容③【英語教材及び言語図書の充実】 英語学習の研究を深めるのに必要な教材を整備する。また、児童が図書室を活用しやすくなるための工夫や、地域の図書館との連携を進める。 (カリキュラム改革関連)	
指標 全学年の英語指導計画の作成と、それに伴った教材の整備をする。図書室の改善と、年1回地域の図書館を活用する。	
取組内容④【家庭・地域との連携】 開かれた学校づくりに向けて、学校の公開や情報発信を積極的に行うとともに、保護者・地域参加型行事を実施する。 (カリキュラム改革関連)	
指標 年間6回の土曜授業の実施、月1回の学校だよりの発行・ホームページの更新	

大阪市立常盤小学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 道徳心・社会性の育成】 ○ 本年度の学校児童アンケート調査の結果から、次の各項目について、「当てはまる（どちらかと言えば、当てはまる）」という肯定的回答の割合を全体の90%以上にする。 ・自分にはよいところがありますか。 ・学校のきまりをまもりましたか。 ・友だちのよいところを見つけられましたか。（カリキュラム改革関連） ○ 本年度末の校内調査で、不登校児童の数を前年度より減少させる。（カリキュラム改革関連）	

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【豊かな心の育成】 様々な楽器を用いて合奏に取り組むことで、豊かな情操を養う。（カリキュラム改革関連） 指標 学期に1回、クラスでの合奏発表に取り組む。	
取組内容②【道徳教育の推進】 「あいさつ運動」を実施し、自らすすんで元気にあいさつができるように指導する。（カリキュラム改革関連） 指標 学期に1回あいさつ週間を実施し、チェックカードで振り返る。	
取組内容③【安全教育及び安全管理】 児童の安全を守るため、防犯・防災指導や災害時を想定した避難訓練・引き渡し訓練等を実施する。（カリキュラム改革関連） 指標 学期1回以上の防犯・防災指導及び避難訓練	
取組内容④【人権教育】 人権尊重の教育をふまえ、自尊感情を高め、自他の違いを認め合える関係を築けるような児童の育成に努める。（カリキュラム改革関連） 指標 年間10時間以上の授業を各教科に位置づけて実施	
取組内容⑤【特別支援教育】 保護者や担任、担当者間の連携を密にしながら、個別の教育支援・指導や学級集団の育成を両輪に児童の支援に努める。（カリキュラム改革関連） 指標 日常的な保護者との連携に努め、学期に1回以上の保護者や担当者との連携会議	
取組内容⑥【家庭・地域との連携】 児童の生活習慣の改善について一体となって取り組むため、生活指導便りを発行し保護者・地域から意見を募り交流する。とりわけ、遅刻や不登校については連携の下で重点的に取り組む。（カリキュラム改革関連） 指標 生活指導便り月1回発行。遅刻の実態把握や、不登校数の減少。	

大阪市立常盤小学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 健康・体力の保持増進】 ○ 全国体力・運動能力、運動習慣調査で各学年の平均得点を、大阪の平均よりも1種目以上上回る。 (カリキュラム改革関連) ○ 「保健調べ」で、健康な生活習慣を昨年度より2項目以上向上させる。 (カリキュラム改革関連) ○ 本年度の学校児童アンケートの「配膳された給食を残さず食べることができましたか。」の項目で、児童の肯定的回答の割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【体育的活動の充実】 パワーアップタイムの設定、外遊びの声かけを行い、少しでも体を動かす機会が増えるように努める。冬場にはなわとびやかけ足を取り入れ、体力向上への意識を高める。 (カリキュラム改革関連)	
指標 パワーアップタイムを中心に、運動する時間を確保し、実施する。	
取組内容②【健康な生活習慣】 爪を短く整えること、石けんでの正しい手洗い、はんかち・はな紙の携行などを呼びかけ、けがや疾病を予防する意識を高める。また、保健だよりを発行し、児童の健康な生活への意識を高めるとともに、健康について地域や保護者と考えていく。 (カリキュラム改革関連)	
指標 強調週間（健康ウィーク）を設定して保健調べ等を行い、そのデータをもとに保健委員会の活動とも連携で、児童・保護者・地域に啓発する。月1回の保健だよりの発行。	
取組内容③【食育】 栄養教諭による指導をはじめ、小学校食育教材「たのしい食事 つながる食育」を活用して、教科と関連づけて食育に関する指導を目指す。また、給食だよりを発行し、児童の食への関心を高めるとともに、食について地域や保護者と考えられるようにする。 (カリキュラム改革関連)	
指標 栄養指導を年間2回（2年は3回）実施する。 月1回の給食だよりの発行。	